

不適合情報

2024年10月9日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	3号機	原子炉補機冷却水系熱交換器(D)伝熱管の渦流探傷検査において、判定基準を超える減肉(1本)を確認した。当該伝熱管を交換。なお、伝熱性能は確保できていたことから、機能に影響なし。	2024/10/04	
2	6号機	ドライウエル冷却系除湿冷却器(A)ベース部コーキング箇所より、微量な水(約20cc、汚染なし)の滲みを確認した。拭き取り実施済み。調査の結果、冷却器内部からの結露水と推定。当該箇所を調査し修理。	2024/10/01	